

第145期 中間事業報告書

平成18年1月1日～平成18年6月30日



関東天然瓦斯開発株式会社



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。ここに当社の第145期中間事業報告書をお届けいたします。

経済環境 当中間期におけるわが国経済は、原油価格の高騰といった懸念材料はありましたが、好調な企業業績を背景に、個人消費が緩やかに増加する等、堅調な民間需要に支えられ、回復基調で推移しました。

また、当社の主たる事業地域である千葉県におきましても、雇用情勢や所得環境に改善の動きが見られたほか、住宅着工の増加が続く等、緩やかな回復傾向にありました。

決算の概況 当中間期の売上高は前年同期に比べ4.9%増の63億67百万円、経常利益は、減価償却費の減少等により、前年同期に比べ18.0%増の16億78百万円となりました。また、中間純利益は、固定資産に係る減損損失の減少等を受けて、前年同期に比べ60.0%増の11億4百万円となりました。

天然ガス 天然ガスにつきましては、工業向けの需要は減少しましたが、都市ガス向けが堅調に推移したため、販売量は前年同期並を確保いたしました。また、一部で販売価格が上昇したこともあり、売上高は前年同期に比べ2.5%増の53億40百万円となりました。

ヨード ヨードにつきましては、販売量は前年同期並であったものの、旺

盛な需要を反映し、販売価格が上昇いたしました。また、為替が円安で推移したこともあり、売上高は前年同期に比べ21.7%増の8億66百万円となりました。

かん水 かん水につきましては、ヨード価格の上昇を受けて、販売価格が上昇したため、売上高は前年同期に比べ8.0%増の1億60百万円となりました。

中間配当金 当期の中間配当金につきましては、8月18日開催の取締役会におきまして、1株につき5円00銭とし、9月7日を支払開始日とすることに決定いたしました。

主な設備投資 主な設備投資といたしましては、3地区の開発計画（継続案件を含む。）を推進し、当中間期におきまして、千葉県長生郡に所在する生産井2坑井が完成しております。また、新規ガス源導入のためのBOGライン敷設工事が、本年11月完成に向けて、順調に進捗しております。

通期の見通し 当社を取り巻く経営環境は、環境負荷が小さい天然ガスの特質が、わが国のエネルギー政策等で評価されるなか、ガス市場の規制緩和による異業種からの参入や、家庭用分野における他エネルギーとの競合等、業界の垣根を越えた競争が激化するものと思われま

す。このような情勢のなか、通期の見通しといたしましては、天然ガスは、都市ガス向けの堅調な需要に支えられ、販売量、売上高ともに前期を僅かに上回るものと予想しております。ヨードにつきましては、旺盛な需要を受けた販売価格の上昇に加え、販売量の若干の増加を見込んでおり、売上高は前期に比べ増加を予想しております。

今後の取り組み 天然ガスにつきましては、不安定な海外エネルギー情勢が続くなか、長期安定供給が可能な事業上の優位性を発揮すべく、新規開発と設備増強を推進してまいります。また、BOG導入によるガス源確保を背景に、グループ会社との連携を通じて、新規大口需要

の開拓を積極的に展開してまいります。ヨードにつきましては、複数分野で進めている研究開発活動等により、新規利用分野の開拓と高付加価値化に努めるとともに、生産体制の更なる合理化に取り組んでまいります。

さらに、平成18年度からの5ヶ年を対象とした中期経営計画を達成するため、経営全般にわたる効率化に努めるとともに、環境面における新たな取り組みとして、ISO14001認証取得に向けた環境マネジメントシステムを確立いたします。また、今後も貴重な国産資源の安定供給という公共的使命を果たすとともに、コンプライアンス経営の徹底、万全な保安体制の確保を通じて、当社に寄せられる社会的信頼に誠実に応えてまいります。

連結決算の概況 当社グループは、当社および子会社7社（連結子会社3社、非連結子会社4社）ならびに関連会社3社で構成されております。主な事業内容は、天然ガスの開発・生産から一般需要家への供給までをグループ内で一貫して行うガス事業、天然ガス生産に付随するかん水を利用したヨード・かん水事業、土木・配管工事、ガス井の掘さく等を行う建設事業等であります。

当中間期の連結売上高は前年同期に比べ13.0%増の219億75百万円、連結経常利益は前年同期に比べ10.3%増の32億29百万円となりました。また、連結中間純利益は、固定資産に係る減損損失の減少等を受けて、前年同期に比べ48.8%増の16億83百万円となりました。

ガス事業 輸入エネルギー価格高騰の影響による販売価格の一部上昇に加え、家庭用等の堅調な需要や大口需要の増加が寄与し、売上高は前年同期に比べ15.3%増の194億27百万円となりました。しかしながら、同様に仕入価格も一部上昇したため、営業利益は前年同期に比べ5.2%増の33億70百万円となりました。

ヨード・かん水事業 旺盛なヨード需要を受けて、ヨードとかん水の販売価

格が上昇したほか、為替が円安で推移したこともあり、売上高は前年同期に比べ19.3%増の10億27百万円、営業利益は前年同期に比べ50.0%増の3億1百万円となりました。

建設事業 受注環境が厳しかったため、売上高は前年同期に比べ23.3%減の8億37百万円となりましたが、利益率の上昇により、営業利益は前年同期に比べ28.8%増の58百万円となりました。

その他の事業 大型物件および集合住宅向けガス機器の販売が増加したこと等により、売上高は前年同期に比べ7.8%増の6億83百万円となりましたが、利益率の低下により、営業利益は前年同期に比べ13.1%減の45百万円となりました。

当社は、本年5月をもちまして、創業75周年を迎えることができました。これもひとえに株主の皆様のご厚情の賜物と、心から感謝申し上げます。

これからも当社グループ全体の更なる発展を目指して、全力を傾注してまいりますので、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年9月

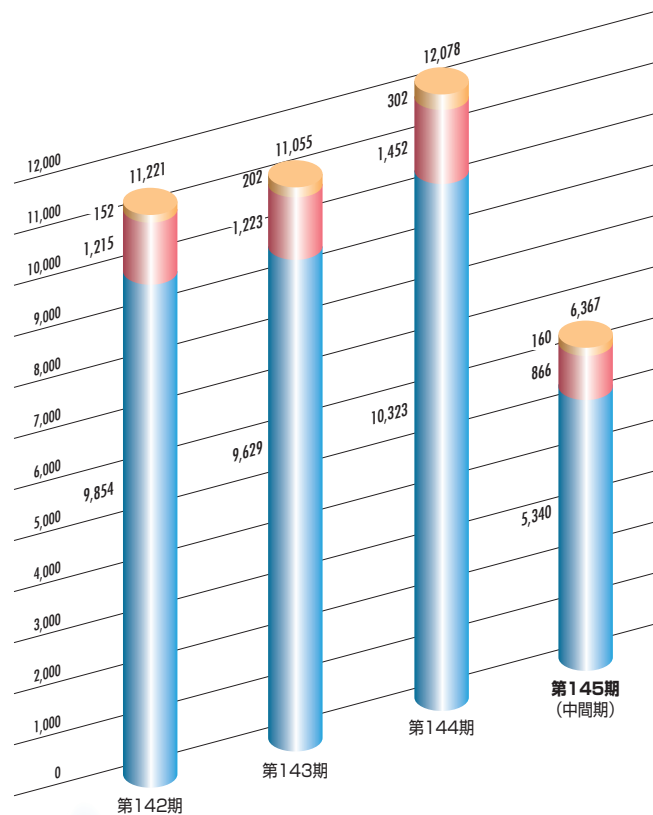
代表取締役社長 佐竹 誠

業績等の推移

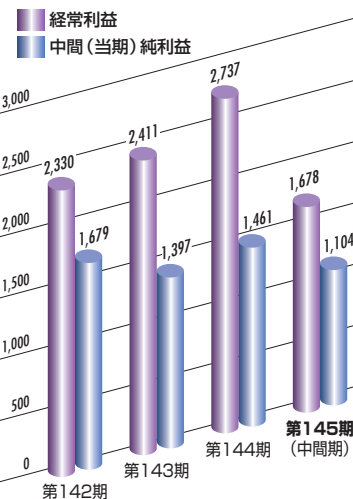
Performance Trend

売上高 (百万円)

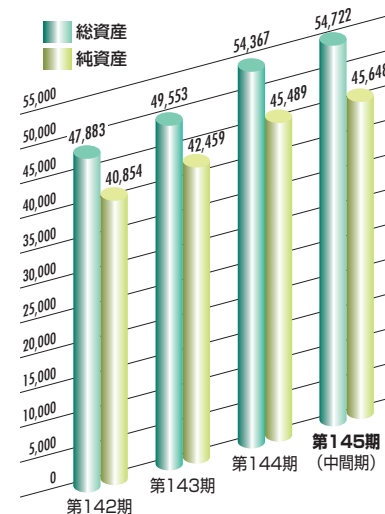
- 天然ガス** 天然ガスは環境に優しく効率のよいエネルギー資源として注目されています。とりわけ千葉県産の天然ガスは、純度の高さと埋蔵量の多さを誇っています。
- ヨード** ヨードは私たちの生存、成長に必要な貴重な物質であり、工業用触媒やレントゲン造影剤等の原料としても使用されています。わが国は世界第2位のヨード産出国であり、そのほとんどが千葉県で生産されています。
- かん水** かん水は天然ガス採取のために汲み上げられた地下水です。成分は海水と似ていますが、ヨード分を多く含んでいるのが特徴です。



経常利益・中間(当期)純利益 (百万円)

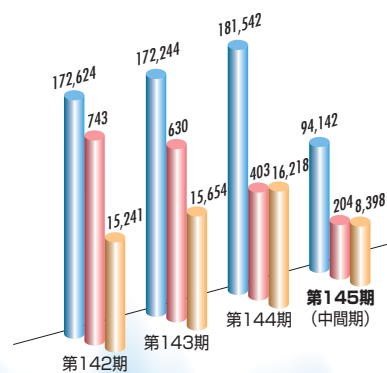


総資産・純資産 (百万円)



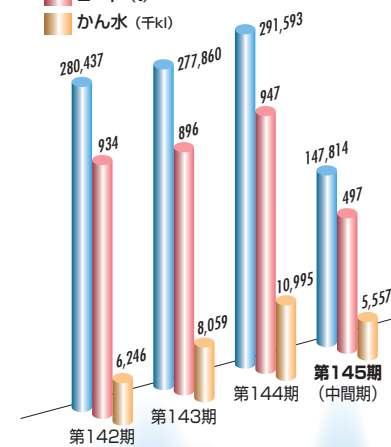
生産量

- 天然ガス (千m³)
- ヨード (t)
- かん水 (千kl)



販売量

- 天然ガス (千m³)
- ヨード (t)
- かん水 (千kl)



単独財務諸表(要約)

Non-Consolidated Financial Statements

中間貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前 期
■資産の部		
流動資産	15,186	16,496
固定資産	39,536	37,871
(有形固定資産)	(13,417)	(12,589)
(無形固定資産)	(647)	(649)
(投資その他の資産)	(25,472)	(24,631)
資産合計	54,722	54,367
■負債の部		
流動負債	4,124	3,732
固定負債	4,949	5,145
負債合計	9,073	8,877
■純資産の部		
株主資本	42,915	42,241
資本金	7,902	7,902
資本剰余金	8,239	8,239
利益剰余金	27,034	26,354
自己株式	△ 261	△ 254
評価・換算差額等	2,733	3,248
純資産合計	45,648	45,489
負債・純資産合計	54,722	54,367

中間損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
売上高	6,367	6,068
売上原価	4,700	4,598
売上総利益	1,666	1,470
販売費及び一般管理費	419	400
営業利益	1,247	1,069
営業外収益	465	381
営業外費用	34	28
経常利益	1,678	1,422
特別利益	180	—
特別損失	96	320
税引前中間純利益	1,762	1,102
法人税等、法人税等調整額	657	412
中間純利益	1,104	689

中間株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	株 主 資 本					評価・換算 差 額 等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
前期末残高	7,902	8,239	26,354	△254	42,241	3,248	45,489
当中間期変動額							
剰余金の配当	—	—	△393	—	△393	—	△393
中間純利益	—	—	1,104	—	1,104	—	1,104
自己株式の取得	—	—	—	△8	△8	—	△8
自己株式の処分	—	0	—	0	1	—	1
役員賞与の支給	—	—	△30	—	△30	—	△30
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	—	—	—	—	—	△514	△514
当中間期変動額合計	—	0	680	△7	673	△514	159
当中間期末残高	7,902	8,239	27,034	△261	42,915	2,733	45,648

連結財務諸表(要約)

Consolidated Financial Statements

中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前 期
■資産の部		
流動資産	23,945	24,430
固定資産	53,770	52,046
(有形固定資産)	(24,925)	(24,245)
(無形固定資産)	(766)	(780)
(投資その他の資産)	(28,078)	(27,020)
資産合計	77,715	76,477
■負債の部		
流動負債	9,036	8,673
固定負債	7,300	7,600
負債合計	16,336	16,273
■純資産の部		
株主資本	51,320	50,083
資本金	7,902	7,902
資本剰余金	8,261	8,260
利益剰余金	35,420	34,176
自己株式	△ 264	△ 256
評価・換算差額等	3,169	3,595
少数株主持分	6,888	6,525
純資産合計	61,378	60,203
負債・純資産合計	77,715	76,477

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
売上高	21,975	19,439
売上原価	15,456	13,160
売上総利益	6,519	6,279
販売費及び一般管理費	3,685	3,674
営業利益	2,833	2,605
営業外収益	455	381
営業外費用	59	58
経常利益	3,229	2,928
特別利益	180	—
特別損失	95	407
税金等調整前中間純利益	3,314	2,520
法人税等、法人税等調整額	1,225	989
少数株主利益	405	399
中間純利益	1,683	1,130

中間連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	株 主 資 本					評価・換算 差 額 等	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
前期末残高	7,902	8,260	34,176	△256	50,083	3,595	6,525	60,203
当中間期変動額								
剰余金の配当	—	—	△393	—	△393	—	—	△393
中間純利益	—	—	1,683	—	1,683	—	—	1,683
自己株式の取得	—	—	—	△8	△8	—	—	△8
自己株式の処分	—	0	—	0	1	—	—	1
役員賞与の支給	—	—	△45	—	△45	—	—	△45
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	—	—	—	—	—	△425	363	△62
当中間期変動額合計	—	0	1,243	△7	1,237	△425	363	1,174
当中間期末残高	7,902	8,261	35,420	△264	51,320	3,169	6,888	61,378

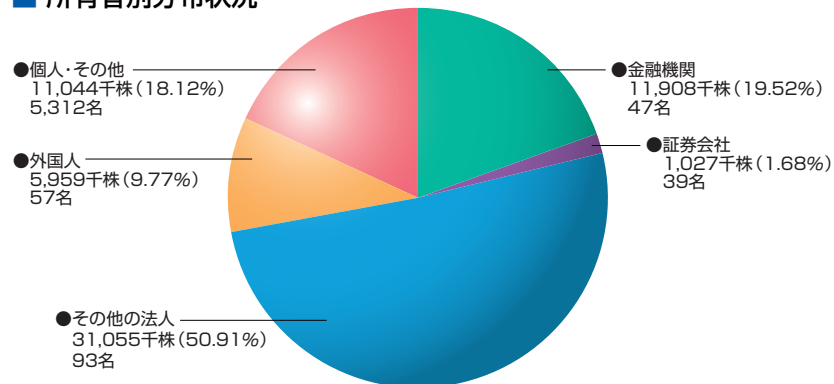
株式情報 (平成18年6月30日現在)

Stock Information

株式の状況

- 発行済株式の総数……………60,996,473株
- 株主数……………5,548名

所有者別分布状況



大株主(上位10名)

株主名	当社への出資の状況		当該株主への出資の状況	
	持株数(千株)	議決権比率(%)	持株数(千株)	出資比率(%)
東京電力(株)	13,050	21.71	—	—
合同資源産業(株)	9,676	16.10	2,199	17.45
三井物産(株)	6,510	10.83	—	—
(株)三井住友銀行	2,614	4.34	—	—
中央三井信託銀行(株)	2,338	3.89	—	—
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	1,387	2.30	—	—
京葉瓦斯(株)	1,234	2.05	300	0.54
モルガン・スタンレー・アンド・カンパニー・インターナショナル・リミテッド	1,003	1.66	—	—
ゴールドマン・サックス・インターナショナル	983	1.63	—	—
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	975	1.62	—	—

会社の概要 (平成18年6月30日現在)

Corporate profile

社名	関東天然瓦斯開発株式会社	事業所	本社
英文社名	Kanto Natural Gas Development Co., Ltd.		東京都中央区日本橋室町2-1-1
事業内容	天然ガスの採取・販売、コードの製造・販売、かん水の販売	茂原鉱業所	千葉県茂原市茂原661
設立	大正6年5月24日	九十九里工場	千葉県山武郡九十九里町真亀1626-5
資本金	7,902,185,320円	吉橋プラント	千葉県八千代市吉橋1820-1
従業員数	144名		

役員 (平成18年6月30日現在)

Directors & Auditors

代表取締役社長	佐竹 誠	取締役	梶田 直
代表取締役常務	吉井 正徳	監査役(常勤)	勝又 秀夫
常務取締役	横山 勝彦	監査役(常勤)	久我 良春
常務取締役	渡邊 俊彦	監査役	館 良男
取締役	山村 信博	監査役	吉益 信治
取締役	長濱新太郎		

グループ会社 (平成18年6月30日現在)

Subsidiaries

会社名	主要事業内容	資本金	議決権比率
			()内は間接所有割合で内数
連結子会社 大多喜ガス(株)	都市ガス事業	2,244百万円	58.3(0.4)%
関東建設(株)	土木・管工事等の建設業	70百万円	100%
オータキ産業(株)	圧縮天然ガス、LPG販売	50百万円	58.3(58.3)%
非連結子会社 (株)テクノアース	さく井工事、地質・地下水汚染調査	100百万円	100(20.0)%
開発興産(株)	不動産業、リース業等	10百万円	100%
KNG AMERICA, INC.	米国における石油・ガス事業	100万1千US\$	100%
(株)総コンピューターサービス	コンピューターサービス業	20百万円	74.9(34.9)%

株主メモ

- 決算期** 毎年12月31日
- 定時株主総会** 毎年3月
- 基準日** 毎年12月31日
その他定款に別段の定めのある場合のほか、
必要があるときは、取締役会の決議により、
あらかじめ公告して基準日を定めます。
- 株主名簿管理人** 東京都港区芝3-33-1
中央三井信託銀行株式会社
- (電話お問い合せ)** 〒168-0063
(郵便物送付先) 東京都杉並区和泉2-8-4
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-78-2031
- 同取次所** 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
日本証券代行株式会社 本店・全国各支店
- 1単元の株式数** 1,000株
単元未満株式の買取および買増のご請求は、
上記の株主名簿管理人または同取次所
(保管振替制度ご利用の場合は取引証券会社)
までお申し出ください。
- 上場証券取引所** 東京証券取引所(市場第一部)
- 証券コードNo.** 1661
- 公告掲載紙** 東京都において発行される日本経済新聞
なお、貸借対照表および損益計算書に係る
情報は、
<http://www.gasukai.co.jp/>
においてご提供いたします。



●お問い合せ先

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2-1-1
関東天然瓦斯開発株式会社 総務部
TEL (03) 3241-5511
ホームページアドレス <http://www.gasukai.co.jp/>



関東天然瓦斯開発株式会社